

CAMPUS HEALTH

2021.3

58 (1)

第58回全国大学保健管理研究集会
(京都大学) 報告書



Japan University Health Association

第58回全国大学保健管理研究集会

The 58th Annual Meeting of Japan University Health Association

大学から人々と社会の健康創造を
— ヘルシーキャンパスJAPAN元年 —

報告書

会期 2020年11月25日(水)・26日(木)

会場 京都市勧業館みやこめっせ および ウェブ
京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

主催 公益社団法人 全国大学保健管理協会
国立大学法人 京都大学

後援 文部科学省
京都市
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻

目 次

第58回全国大学保健管理研究集会 ごあいさつ

「大学から人々と社会の健康創造をーヘルシーキャンパス JAPAN 元年ー」 5

第58回全国大学保健管理研究集会 大会長 石見 拓

I. プログラム

日程表 9

ネットワーキング・イベント 10

II. 開会式 13

III. 講演プログラム

IV. 特別講演

- 1 長崎大学ヘルシーキャンパスの取り組み全学禁煙化・ヘルシー弁当・メンタルヘルス対策と
自殺予防・職員検診など 調 漸 23

V. シンポジウム

1 ヘルシーキャンパス活動 具体例の紹介と今後の展望

① ヘルシーキャンパス世界の潮流と立命館大学での取り組み 松永 奈央子 29

② 金沢大学の取り組み・心理師の立場から 足立 由美 32

③ ヘルシーキャンパス・プロモーター（学生）の取り組み 誉田 真子 35

2 大学生の自殺ゼロを目指して ～大学におけるメンタルヘルス対策・体制の課題と展望～

① 特別講演2：大学生の自殺対策の現況と自殺予防教育の必要性 太刀川 弘和 37

② 自殺予防の視点からみた自閉スペクトラム症のある学生の支援 三好 智子 39

③ コロナ禍の東大生・京大生のところに寄り添う大学生協の取り組み 松田 響生 42

倉地 菜央

3 大学における COVID-19 対応の実際と今後の課題・展望

① 特別講演3：長崎大学における COVID-19 への取り組みと今後の課題 泉川 公一 45

② 全国の大学における COVID-19 対策に関するアンケート結果の紹介 奥屋 茂 49

③ 東京大学の取り組み 柳元 伸太郎 53

④ PHR で繋ぐ健康観察と積極的疫学調査 山本 景一 56

VI. 一般研究発表

優秀演題表彰 59

一般研究発表 61

ランチョンセミナー 405

VII. 展示ブース紹介

賛助会員交流コーナー / 企業展示コーナー 411

VIII. 閉会式 415

Ⅸ. 名簿

第58回全国大学保健管理研究集会 事前参加登録者・研究発表者等名簿	419
第58回全国大学保健管理研究集会 運営委員会委員・幹事名簿	425

ごあいさつ

大学から人々と社会の健康創造をーヘルシーキャンパス JAPAN 元年ー

2020年 11月 25日(水)、11月 26日(木)の2日間、京都市勧業館みやこめっせにおいて、第58回全国大学保健管理研究集会を開催させていただきました。新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、当初、現地とウェブでの参加のハイブリッド形式での開催を予定していましたが、直前に急遽完全ウェブ開催に変更させていただくなど、例年になく異例の形での開催となりましたが、大きな混乱もなく700名を超える方々にご参加いただきました。報告書を刊行するに当たり、本研究集会にご参加いただいた皆様、ご登壇いただきました演者・座長の先生方、後援・協賛いただきました皆様、プログラムの作成等にご協力をいただきました運営委員会委員の皆様に深くお礼を申し上げます。

本大会のテーマは、『大学から人々と社会の健康創造をーヘルシーキャンパス JAPAN 元年ー』とさせていただきました。テーマに合わせ、特別講演1では先進的にヘルシーキャンパスのコンセプトを取り入れ、全学的に取り組まれている長崎大学の調漸先生に、導入に至った経緯、様々な取り組みについてお話をいただきました。これを受けて行われたシンポジウム1は3つの大学からヘルシーキャンパス活動の具体例をご紹介いただいたうえで、ジャーナリストの堀さんの司会の下で、今後のヘルシーキャンパスの展望と課題についてご議論いただき、全国大学保健管理協会代表理事の大阪大学守山敏樹先生から、ヘルシーキャンパス宣言がなされました。

ヘルシーキャンパスは、大学が『健康』に関わる取り組みを従来以上に実践し、評価し、社会に向けて発信することを目指した取り組みです。医療や社会が発展し、従来の病気の治療や予防にとどまらず、個人が主体的に健康の管理、増進を行うことが求められており、それを支援する大学保健に求められる役割も大きく変化してきています。健康とは何か？学生や教職員が自身の健康を考え、行動を起すことをどのように支援したらよいか？目には見えにくい健康増進を支援する取り組みの効果をどのように可視化していくのか？こうした新しい考え方を大学としていかに取り入れ、社会に向けて発信していくのか？といった議論を通じて、ヘルシーキャンパスの理念を広く共有し、全国に広げていく重要なきっかけとなったと考えています。

シンポジウム2,3では、大学生の自殺ゼロを目指して 大学におけるメンタルヘルス対策・体制の課題と展望、大学における COVID-19 対応の実際と今後の課題・展望という、今、大学保健が直面しているトピックスを用意しました。それぞれのトピックスで最先端の取り組みを実践されている茨城大学の太刀川弘和先生、長崎大学の泉川公一先生に特別講演をいただき、引き続いて各大学での具体的な取り組みの紹介と総合討論、という形式で議論を深めていただきました。

新たな試みとして、一般演題の中から8つの優秀演題を選定し、優秀演題発表セッションにて参加者の皆様の前でプレゼンテーションをいただいたうえで最優秀発表を選ばせていただきました。いずれも素晴らしい研究内容、ご発表で、参加者の皆様に貴重な情報と刺激をいただけたものと思います。この場を借りてご発表いただいた皆様、選考の労をお取りいただいた大阪大学瀧原先生をはじめとした選考委員の皆様に感謝いたします。

一般研究発表は11のカテゴリーに135題のご発表をいただきました。新型コロナウイルス感染症への対応に関わる研究をはじめ、大学保健の現場で課題となっている諸問題への対応を共有する本研究集会の意義を改めて感じるものでした。従来のポスター発表と異なり、オンラインでの発表となりましたが、一つ一つの発表を参加者がしっかりと聞き取ることができ、今後の一般演題発表のあり方に貴重な経験が得られました。

本研究集会は、最新の取り組み、研究の共有だけでなく、大学保健管理を行う者同士の交流、ざっくばらんな意見交換の場としても重要です。今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、やむを得ず懇親会が中止となりましたが、交流の場を確保するために、ウェブを用いたネットワーキングイベントも開催しました。はじめての試みでもあり、参加人数が多い場合のグループ分けの円滑な実施など課題もみられましたが、多くの皆様にご参会いただき、参加者同士が交流、意見・情報交換を行う貴重な機会となりました。ご参加いただいた皆様、ファシリテーターをお勤めいただいた先生方、ありがとうございました。

今回、やむを得ずオンラインでの開催となりましたが、オンライン開催だからこそ参加できたという声もいただくなど、今後の研究集会のあり方を考える機会ともなりました。多くの皆様にご参加いただき、貴重な研究、情報を共有いただくことができ、開催形態に関わらず、本研究集会の意義を感じさせていただきました。

最後になりましたが、開催にあたりご支援・ご協力をいただきました多くの皆様に心からお礼を申し上げ、公益社団法人 全国大学保健管理協会の益々の発展を祈念して、本報告書発刊のご挨拶とさせていただきます。

第58回全国大学保健管理研究集会
大会長 石見 拓